

# 総会当日資料として持参願います

会員各位

## 横浜国大剣友会の財政基盤安定化（提案）

－ 発足50周年に向けた記念事業 －

2016. 4. 4  
横浜国大剣友会  
会長 宮部 安男



### I. 趣旨

人的、資金的強化策の提案

1. 現役剣道部の支援強化のための財政基盤安定化  
正しい剣道の推進と全日本学生剣道優勝大会出場の常連校へレベルアップ。
2. 1の過程を通して会員相互のより一層の親睦

### II. 現状と課題

現在の会員はすでに350名を越え、年代的には50歳までの会員が全体の2/3を占める構成となっています。

ここ数年の趨勢としては記念大会の年度を除くと110名前後の会費納入であり、予算に対する会費不足を寄附金で補い、辛うじて収支が合う状況が続いており、現役剣道部の強化についても監督を中心とした一部OBの人的支援に頼るところが大きくなっています。

また、現役の部活動の自主・自律を尊重することは自明とはいえ、現役も各種大会の登録加盟費、参加費の増加、練習試合の増加、合宿費(2回/年。4～5日間/各)等のため、負担は増加する傾向にあります。なお、ここ数年、現役剣道部は激戦関東大会で僅差で全国大会出場を逸するところまで来ていることを申し添えておきます。

昨年後半から幹事会での検討を経て、50周年否10年後の60周年に向けてこのような現状を打破することが喫緊の課題だと考えます。

会員各位には、それぞれの考えがあるとは思いますが、現役剣道部の支援強化という点で行動を一致できれば幸甚です。

# 総会当日資料として持参願います

## Ⅲ. 施策

### 1. 会費収入の増加等

(1) 会費納入率の向上(30～35% → 50%目標)

2016年度130名－2017年度180名－2018年度200名目標

全体幹事、学年幹事主体で推進

(2) 会費値上げ(3,000円→5,000円)(2017年度から)

(3) 現役、剣友会の活動内容の周知(剣友会として。季報－インターネット)

(4) 剣道部卒業時に剣友会加入の確認

### 2. 通信費等の経費節減(新規)

① 口座振替サービスの活用(会員承諾のうえ)

② 総会案内等インターネットをさらに活用する(当面は一部、郵送との併用)。

③ 幹事会運営(従前どおり無償)

④ 会員の退会措置(規約附則改正)・・・詳細は別紙参照

### 3. 現役指導の強化(継続)

(1) OB監督の継続・恒常化(引き継ぎへの配慮)と活動費補助

通常(1回/週末)。春、夏合宿(4～5日間)。各種大会。

(2) 各種大会への審判派遣

(3) 現役春、夏合宿へのOB参加と一部交通費補助

### 4. 外部師範の招聘による現役指導と予算化(新規。50周年記念行事の一環)。

通常(1～2回/月)、春、夏合宿。

(注)2015年度に途中から外部師範にお願いし、試行。その効果は充分にあったと考えているが、師範の体調不良のため中断中。

### 5. 特別積立金の募集 目標2,000千円(一口以上/人。一口5千円)

① 2016. 6. 25から1年間で募集。

② 2011年全日本女子剣道優勝大会に出場の際、150名強の方から寄附をいただいた内530千円強を特別会計に積み立ててあり、合せて2,530千円を5～7年間で均等割りして、現役強化策に充当する(外部師範御礼、全国大会出場支援)。

### 6. 会員の親睦(継続強化)

(1) ×5、×10周年単位で企画

(2) OBの都学連大会への出場(団体戦)・・・3チーム(年代別)

(3) OB稽古会、合宿

# 総会当日資料として持参願います

## IV. 予算（試算概算）（2017年度以降）

### （1）収入

- ①会費 5千円×150名＝750千円（2017年度）  
5千円×180名＝900千円（2018年度以降）

なお、2016年度の会費は従前どおり3千円/人

### ②寄附金

### ③積立金

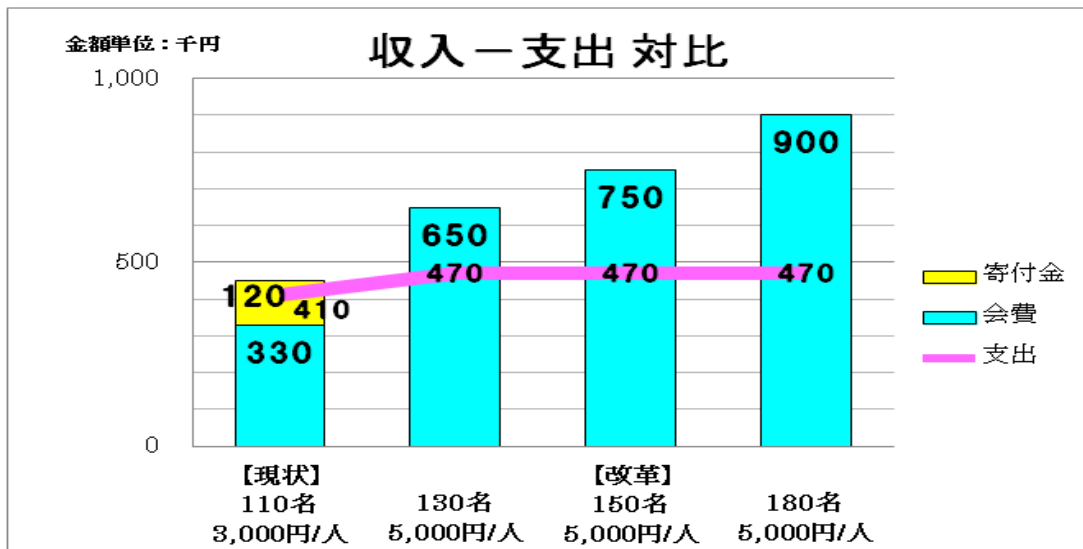
- 全日本女子出場時積立分 530千円
- 新規募集 2,000千円

### （2）支出

- ①監督補助 160千円（←現状130千円）
- ②学生補助 150千円（←現状100千円）  
大会参加費、素振り用木刀他、年度で計画（現役との連絡OB）
- ③総会案内・通信費 30千円（←現状50千円）
- ④OB都学連登録・大会補助 30千円
- ⑤現役合宿へのOB参加補助 50千円
- ⑥予備 50千円
- ⑦外部師範指導御礼 250千円
- ⑧現役全国大会出場 300千円

### （一般会計）

#### ①収入－支出対比（単年度） （金額単位：千円）



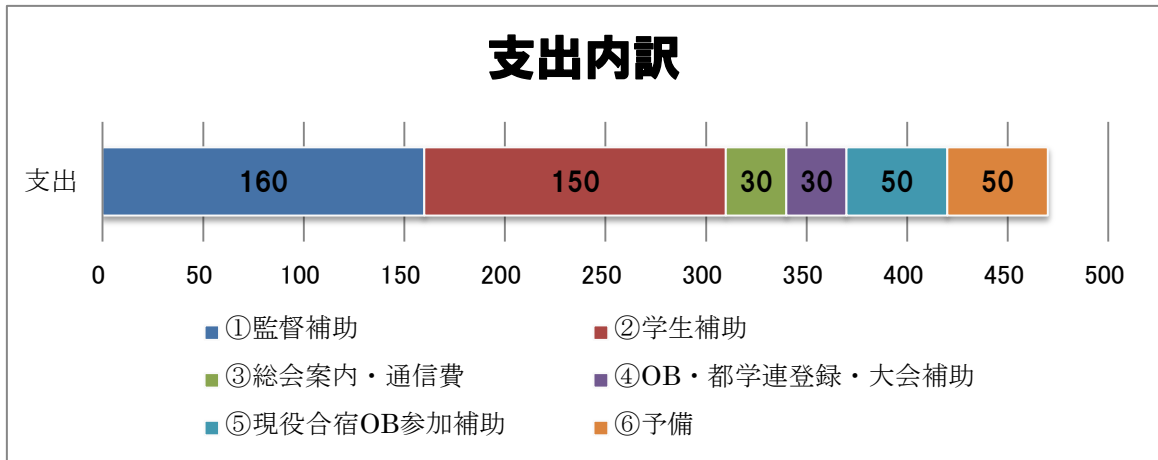
会費収入－支出 ▲80 +180 +280 +430

(注) 物価上昇分他は余剰繰越金で賄う。

# 総会当日資料として持参願います

②支出内訳 (単年度)

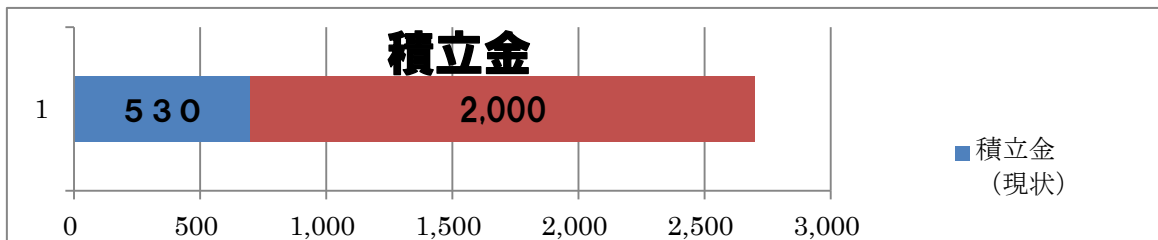
(金額単位：千円)



(注) 上記以外で記念総会 (×5、×10周年) の特別費用については特別会計の次期記念総会積立金720千円から充当。

(特別会計)

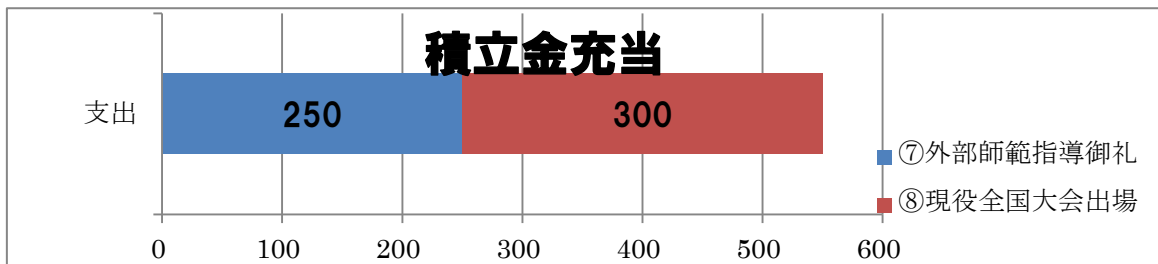
①積立



金 (金額単位：千円) (注) 上記とは別に記念総会用の特別費用として720千円を積み立ててある。

② 積立金充当

(金額単位：千円)



(注) 積立金充当の試算

⑦の外部師範指導御礼は毎年

⑧の現役全国大会出場は概ね1回/2年

⇒ 約7年間充当 (2017年~2023年)

7年 250 × 7 = 1,750千円

3回 300 × 3 = 900千円

以上